

**単施設研究用
【情報公開文書】**

秋田大学腫瘍内科における胆道癌の薬物療法の治療成績についての調査研究

1. 研究の対象

2022年12月23日から2025年12月31日までに秋田大学医学部附属病院腫瘍内科で胆道癌の薬物療法を受けられた方

2. 研究目的・方法

【目的】胆道がんの治療療法にはゲムシタビンとシスプラチニ併用療法とS1しかなく、難治性でした。その後、免疫チェックポイント阻害剤のデュルバルマブとペムブロリズマブが加わり、ゲムシタビンとシスプラチニ（GC）に免疫チェックポイント阻害剤を加えた3剤併用療法が第一選択療法として確立しました。2019年のWHO分類で肝内胆管癌はsmall duct typeとlarge duct typeに分類され、臨床像や分子生物学的特徴が異なることが示されました。免疫チェックポイント阻害薬を併用したGC療法のサブタイプ別の治療成績は調査されていません。これらのサブタイプ別の治療成績を明らかにします。

【方法】

診療録から年齢、性別、臨床診断、病理分類、治療歴、治療効果、生存期間、有害事象などを抽出し、病理分類ごとの治療効果、生存期間、有害事象などのアウトカムを解析します。

研究実施期間：研究実施許可日～2027年3月31日

情報の利用及び提供開始予定日：2026年1月26日

3. 研究に用いる情報の種類

情報：病理所見、画像所見、診療情報等

4. お問い合わせ先

秋田大学・腫瘍内科では、倫理委員会の承認を受けて「秋田大学・腫瘍内科における胆道癌の薬物療法の治療成績」についての調査研究を実施しております。本研究は2025年までに秋田大学・医学部附属病院・腫瘍内科で薬物療法が行われた胆道癌の方の臨床情報等を収集しております。胆道癌の薬物療法の実態解明や治療法の確立のため、これらの臨床情報等を活用します。

対象者に該当する可能性のある方、またはその代理人で、臨床情報等の活用を希望されない場合は、下記の連絡先にお問合せください。また、本研究に関する資料の閲覧を希望される場合も下記の連絡先にお問合せください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：臨床腫瘍学講座 教授 柴田 浩行

住所：〒010-8543 秋田市本道 1-1-1

電話番号：018-884-6262

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 羽渕 友則